



12月園だより

2022年12月
尚徳福祉会
沼袋西保育園
園長

暖かい日が続きとても過ごしやすい11月でしたが、月末にもなると朝晩は寒さが増し冬の訪れを感じます。街のあちらこちらにクリスマスの飾りが見られるようになり、今年もあとひと月となりました。

寒いとつい室内で過ごしがちになってしまうのは大人の感覚で、子どもたちはお外が大好きです。天気の良い日は園庭に出て、遊びながら運動機能を高め、風邪をひかない丈夫な体作りをしていきたいと思ひます。そして今月は2歳児クラスから5歳児クラスの発表会があります。遊びが劇ごっことなり、楽しそうに歓声をあげています。当日までみんなで積み上げる経験を大事にしています。当日は沢山のお客さんに緊張したり、はずかしくなってしまうこともあるかと思ひますが、盛大な拍手で応援していただければと思ひます。

年末年始は子ども達にとって楽しいことがいっぱいです。子ども達にできる簡単なことはお手伝いをさせてあげて下さい。お父さんやお母さんの役に立てたということはとても大きな喜びであり、自信につながります。

良いお年をお迎えください。年明け元気な子ども達に会えることを、楽しみにしています！！



☆12月の予定☆

- 1日(木) 避難訓練
- 6日(火) 幼児身体計測
- 7日(水) 発表会予行練習(2・4歳クラス)
乳児身体計測
- 8日(木) 発表会予行練習(3・5歳クラス)
0歳児健診
- 16日(金) ミニ発表会(全園児)
- 22日(木) 0歳児健診
- 23日(金) おたのしみ会(全園児)
- 24日(土) 発表会(2歳~5歳)
- 27日(火) もちつき
- 29日(木) ~年末休みとなります。

※12日の月曜日、英語であそぼう(幼児組)

☆1月の主な予定☆

- ~3日(火) まで冬季休業
- 5日(木) 避難訓練
- 10日(火) 幼児身体計測
- 11日(水) 乳児身体計測
- 12日(木) 0歳児健診
- 17日(火) 年長組5園交流(雨天2/9)
- 26日(木) 0歳児健診

※23日の月曜日、英語であそぼう(幼児組)

☆お知らせ・お願い☆

○感染拡大防止の観点から引き続き、玄関先でのアルコール消毒(大人)と、登園後すぐのお子さまの手洗いをお願いいたします。

○お子さまに発熱や呼吸器症状等がある場合は登園を控えていただき症状によっては受診をして登園の可否の確認をお願いいたします。又、同居のご家族に発熱等の体調不良が認められる場合は、お子さんもご家庭で様子を見ていただきますようお願いいたします。

○12/5(月)は緑道の桜の木伐採のため西公園が通行止めになります。詳しくは園内の掲示をご覧ください。

○12/24(土)発表会を開催いたします。2歳~5歳児クラスが対象となります。詳しくは11/15に送付しましたメールをご確認下さい。プログラムは後日配布いたします。

○登園届・意見書はホームページよりダウンロードしていただけるようになりました。ご利用下さい。

○保育園をお休み、もしくは遅れて登園される場合は当日の朝9:30までにご連絡をお願いいたします。

○12/29(木)~1/3(火)は年末年始のお休みになります。お間違えのないようお願いいたします。

生まれ持った性格を その子の持ち味にしてあげる



3~6歳 能力を伸ばす 個性を光らせる
主婦の友社 汐見 稔幸氏

個性をいい方向に伸ばしてあげる

子どもがどんな性格でも、その性格をいい方向に伸ばすには、親が笑って対応し、その子の持ち味にしてあげることがたいせつです。

せっかちなタイプの子どもの「もっとゆっくりしなさい」と言っても無理ですし、のんびりタイプの子どもの「もっとテキパキしなさい」と言ってもできません。それは「どうしてこのくらいのができないの?」と言っているのと同じことですから、子どもに否定のイメージを送ることになり、そうすると子どもはどんどん自分に自信をなくし、かえって何もできなくなってしまう。

ゆっくりタイプの子どもの「あなたはひとつひとつの仕事がていねいだから、いい仕事をするよね。職人タイプなのかもしれない。ゆっくり時間をかけてやるのがあなたの持ち味だけど、そのかわり、急がなくてはならないときは急げるようにしなさい。試験は制限時間があるんだから、ゆっくりやっていたら1問しかできないなんてことになってしまうからね」と言ってあげればいいのです。

せっかちなタイプの子どもの「せっかちをやっていると、こまかなことを見落としたりするかもしれないから気をつけなさい。でもせっかちタイプは最初にどんどんやっていくわけだから、社会の中でいつも先頭に立つような役割をするのがあなたの持ち味なのよ」と言ってあげます。

その子は性格がいい方向に出てくるような持ち味にしてあげるのが、親の仕事です。

親の好みの性格でなくても否定しない

いまの時代、みんながせかせかしているの、ゆっくりした子どもを見てイライラしているお母さんが多いような気がします。ですから「ゆっくりした子どもではなく、反応が速くて、気分の切りかえもパパッとできる子がいいな」と思ってしまうのです。

最近の大人も、子どもといっしょに「きょうは夕焼けがきれいだな」とのんびりながめる時間の余裕も心の余裕もなくて、「おけいこごとに連れていかな

くちゃ」「ごはんを作らなくちゃ」とあわただしく、ゆとりをなくしています。

パッとすばやく反応する子は直感力が豊かなのかもしれませんが、好き嫌いの強い子ですから、「わたしはこれはダメ」「これは好き」と自分に合うものの幅が狭くて、ある意味では世界が狭いかもしれません。一方、おっとりタイプの子どもの一見するとボーッとしているようですが、いろんな刺激を受け止めて考えているので、ふところの深い人間になっていく可能性があるわけです。

親は子どもの性格が自分にとって都合がいいかどうかで、よしあしを判断しないようにしたいものです。

子どもをかわいく思えない、 子どもと相性がよくない

同じ親の子どもでも、性格はひとりひとり違います。ですから、親好みの性格の子どももいれば、親があまり好きではない性格だと感じることもあり、「親と子の性格の相性」というものがあります。

しかし、「下の子は好きだけど、上の子とは気が合わないわ」などと名言しないことです。親に「あなたとは合わない」と言われたら、子どもはショックです。親にそういう気持ちがあっても、そういうことは言わないことです。

どんな子どもでも好んでそうなっているわけでもなく、親が産み、親の遺伝子を受け継ぎ、親が育ててそうなっているわけですから、子どもの性格の責任は親にあり、子どもに責任があるわけではないのです。もちろん子どもへの責任は親だけでなく社会全体にもあるわけですが、少なくとも親は子どもの性格を受け入れてあげなければいけないと思ひます。

性格というのは経験によっていろんな方向にふくらんでいくものですから、「この子とは合わない」と決めつけず、子どもの性格をなるべくいい方向に見るようにし、いい方にのばしてあげてください。